

## 令和 7 年度 学校評価 報告書

聖徳大学八王子幼稚園

## I、本園の教育目標

「いつもにこにこ元気な子ども」

- 1、健康でたくましい子どもに
- 2、だれとでも仲よくできる子どもに
- 3、しっかりと約束の守れる子どもに
- 4、あいさつのできる子どもに
- 5、自分で考えて行動のとれる子どもに

★83 名中 83 名提出

◎回収率 100%

## II、自己評価の状況

◎目標を上回る ○目標に達する △目標に届かない

	評価項目	評価	取り組み状況
1	幼稚園の運営について	◎	カリキュラムを一つひとつ見直し、遊びを通じた社会性・創造性・生活習慣の取得を促す、質の高い教育カリキュラムへと新しくし、教職員間で共通理解が深められた。また、様々な行事に対してパート職員の協力を多く得ることができた。
2	保育の在り方、幼児への対応	◎	安全な環境下で、信頼関係に基づき園全体で、幼児一人ひとりの育ちを見守り、職員同士での情報共有を小まめに行うことができた。また教職員全員が全園児を把握している。
3	保育者としての資質・良識・適性	◎	とうきょうすくわくプログラムの参加。大学の先生によるご指導により、子どもの見方、関わり方、また、「探求心」についての学びを深めることができ、保育者のスキルアップにつなげることができた。
4	保護者への対応・守秘義務	◎	保護者からの要望に、検討可能なことは職員で話し合い、柔軟に対応、変更を行うことができた。また、トラブル時に、家庭環境や特定の誰かのせいにするのではなく、現状をしっかりと見つけ、園全体で対応をし、保護者と一緒に考える姿勢をもつことができた。
5	地域の自然や社会とのかかわり	◎	地域の高齢者施設や、小学校との交流を通じて、相手をいたわる気持ちや、小学校への期待感が生まれ、社会性を養うことができた。また、遠足や公園遊びを行い豊かな自然環境の中で豊かな感性を育むことができた。
6	保育者の専門性に関する研究・研究への意欲・態度	◎	姉妹園との勉強会を計画的に実施。 また、とうきょうすくわくプログラムに参加したことで、土遊び、砂遊びを通して「探求心・好奇心」について学びを深めることができた。引き続きプログラムへの参加をして学びを深めていく。
7	保育のあり方 3歳未満児への対応	◎	園全体で受け入れ、一人ひとり丁寧に接し、生活のリズムの安定、食事やトイレの自立支援、情緒の安定を重視した手厚い保育を行うことができた。また、1歳・2歳児クラスではベビーマッサージを初の試みで実施し、

			参加者からも好感をもっていただくことができた。
8	地域における子育て支援	◎	出前保育の場を八王子市子育て支援センターの2カ所に増やし実施。親子向けに遊びの提供や子育て相談を行ってきた。また聖徳の保育の魅力や大切さを発信し幼稚園見学へと導き、入会・入園につなげることが少しずつではあるができた。

#### IV、保護者評価の状況

結果	項目	内容
◎	ご自身のお子様について	「挨拶や身支度などの生活習慣を身に着けることができた」や「自分の気持ちを言葉にして伝えることができるようになった」などとコメントをいただいた。しかし、「相手の話を注意して聞くことができる」項目の評価が平均点数3.2と低かった。日々の保育の中で、教師がもっと意識をもって指導をしていかなければならないと反省した。
◎	園の運営について	「保護者の意見を受け入れる姿勢を感じられた」「発表会や運動会等、年々形を変えたり工夫したりする先生方の姿に安心している。」「子どもが伸び伸び成長できる園」などの意見を頂き保護者満足度を上げることができた。引き続き状況に合わせて対応を検討し実施していきたい。
◎	家庭との連携について	「些細なことでも親身になってくれ相談しやすい」「先生方への信頼があるからこそ安心して心穏やかに毎朝送り出すことができた」とコメントをいただけ、引き続き幼稚園と家庭が連携をとっていくことで子どもの成長につながると考える。

#### V、総合的な評価結果

評価	理由
A	・日々の子どもの様子の可視化。園での様子が写真やSNS、園だより、クラスだよりを通して小まめに共有したことで、保護者の安心感を高めることができた。また、日々の保育や運動会、季節のイベント、食育などの経験を通して、子どもの成長を実感していただけるような機会を多く作ることができた。どの子どもにも愛情をもって、個々に合わせた指導、援助を行い、「いつもにこにこ元気な子ども」の教育目標が達成でき、保護者から聖徳教育でよかったと評価された。

A・十分に成果があった B・成果があった C・少し成果があった D・成果がなかった

#### VI、今後取り組む課題

	課題	具体的な取り組み方法
1	・相手の話を注意して聞ける子どもに育てる	・「子どもの聞く力を育てる。」を目標に、教員が様々な話の聞かせ方や聞き方、またゲーム式の話の聞き方などで、子どもが興味をもって相手の話が聞けるようにする。
2	・保護者の求める幼稚園像を知る	・幼稚園内の様子や行事等の可視化に努め、HP・インスタグラムの配信を心がけ、見学者の求める幼稚園像を知る機会を見学者から得られるようにする。検討し入園に繋げられるようにする。

VI、学校関係者評価委員の評価・・・評価委員5名より、全項目において「A」の評価を頂きました。

## コメント

- ・今の世の中に合わせて行事等の見直しをしていることを評価いたします。
- ・子ども達や保護者に寄り添い、幼稚園が年々変化していることに先生方の努力と熱意が伝わります。
- ・すくわくプログラムは興味深いお話でした。昨今、探求心というものを重視されていますので、将来役に立つ貴重な経験ができたことと思います。
- ・外部へ聖徳の魅力が伝わるようにと、出前保育や SNS 発信など素晴らしいと思います。
- ・子ども達は皆さんの影の努力の恩恵をフルに受け、楽しいそして、意味に満ちた幼稚園生活を送っています。心からの敬意と感謝の念を抱いています。

以上、貴重なご意見を頂きました。